

日本語添削プログラム 2022

説明事項

【趣旨】

大学院に在籍する留学生が研究上で執筆する日本語の表現性を高めることで、研究活動を活性化することを目的とする。

【日本語添削プログラムの概要】

| 対象者 | 添削の対象 | 添削の上限（年度内） | 申込締切 |
|----------|-------|------------|------------------------------------|
| 修士課程2年 | 修士論文 | 2回、合計10万字 | 11月末日 17時まで ※土曜・日曜に当たる場合は直前の金曜日 |
| 博士後期課程3年 | 博士論文 | 3回、合計30万字 | 添削開始日の10日前まで |

1. 対象者

大学院に在籍する留学生で、修士課程2年、および、博士後期課程3年在籍者（研究論文Ⅱ・研究報告書Ⅱの合格者）を対象とする。

※休学者は対象としない。半年間在籍の場合は、在籍期間中は添削の上限内で申請が可能。

◆ 添削の対象

修士論文、博士論文の全部、または一部。

2. 添削の上限

回数制限：修士課程2年は2回、博士後期課程3年は3回まで（4月～翌年3月末まで）

文字数制限：修士課程2年はA4の標準書式で、文字数ベースで10万字まで。

博士後期課程3年はA4の標準書式で、文字数ベースで30万字まで。

※博士課程3年は、博士論文を提出するまで毎年30万字まで添削可能。

3. 受付時期

修士論文については、11月末日（※土曜・日曜に当たる場合は直前の金曜日）17時メール必着分まで受け付ける。博士論文については、特に期限を限定せず、随時受け付ける。ただし、原稿提出予定日（添削開始日）の10日前までに申込書を提出すること。

原稿提出日について、年度内2回目以降の申請の際は、前回の提出日から6週間以上空けること。

申請から返却までおおよそ2週間を想定（分量による）。返却日については申請時に確認すること。

4. 指導教員の許諾

申請には指導教員の許可が必要。申請書に指導教員から署名押印を受けなければならない。

※コロナ感染症拡大の影響で直接教員から押印がいただけない場合は、メールなどで教員から本プログラム利用の許可をもらい、そのメールを教務担当へ転送することで押印の代わりとします。

5. 利用のながれ

1. 記入済みの「日本語添削プログラム申込書」をメールで提出する。

※原稿提出予定日の10日前まで。

★様式は文学研究院ウェブサイトからダウンロードすること。

2. 指導教員の署名・捺印を受けた申込書（紙）を教務担当窓口まで提出、または利用承諾のメールを転送する。

※1.のメール送信後3日以内。

3. 指定の原稿提出期限までに Word ファイルで iau@let.hokudai.ac.jp へ送付する。

6. 注意事項

1. 添削者数に限りがあるため、希望の時期に申請を受付できない場合もある。
2. 添削を行うのは論文の日本語表現の完成度を高めることが目的であり、論文の内容および構成について添削するものではない。申請された論文の学位論文としての評価について、添削内容および添削者には一切責任はなく、申請者自身が責任を持つこととする。
3. 添削者は教務担当が決定する。
4. 添削終了後、指導と説明のための面談（1時間）を行う。ただし、添削者の都合により面談を実施できない場合もある。
5. 面談終了後、添削後原稿および添削者からのコメントを教務担当から指導教員に報告する。
6. 添削指導の結果を利用者がどう活用するかに制限はない。
7. 添削担当者は、預かった論文（の一部）を添削指導以外に使用することはない。結果の報告も、教務担当と指導教員にのみ行い、論文内容および添削内容を口外することはない。
8. 教務担当からのメールに返信が無い場合や、電話に応じない場合には、添削を引き受けられない場合がある。

文学事務部教務担当

TEL : 011-706-3005

Email: iau@let.hokudai.ac.jp